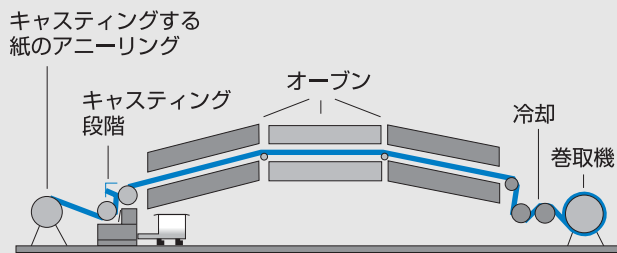


キャスト製法・カレンダー製法

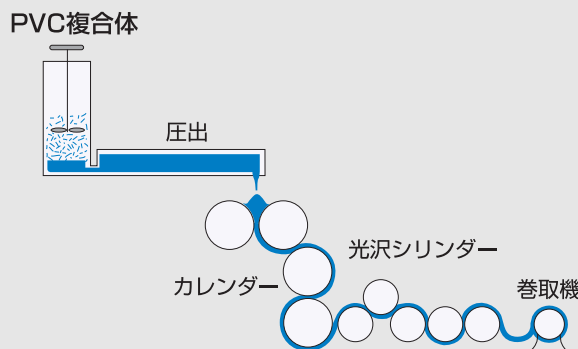
キャストフィルム



液体のPVCを一定の厚さと幅に薄く伸ばし、乾燥させて作ったフィルムで寸法安定性がよく耐候性に優れています。5年以上の耐候性を要求する企業の広告に使えます。

ファスカル900スーパーキャスト（耐候性5～7年）

カレンダーフィルム



練り状態のPVCを高温圧出行程で薄く伸ばして作ったフィルム。適切な厚さで作業性がよく、価格も経済的。PVCフィルムの復元力によって多少収縮が生じることがあります。

モノメリック（モウカル、モウカルエコノミー）
ポリメリック（モウカルV3、ファスカル700）

マーキングフィルムのバリエーション

屋内用タイプ	パネル製作、装飾など、屋内で使用するのに適しています。 ・モウカル（P.2～3参照） ・モウカルエコノミー（P.4参照）
屋外用カレンダータイプ	シートに厚みがあり、平らな看板などのサインに適しています。中期屋外用。 ・モウカルV3（P.5参照） ・ファスカル700（P.7参照）
屋外用キャストタイプ	耐候性に優れています。シートが薄く伸縮性に優れており、曲面や凹凸面にも対応できます。カーマーキングにも適しています。長期屋外用。 ・ファスカル900（P.8～9参照） ・ダイナカル（P.11参照）
電飾タイプ	内照式の電飾看板などに用いる、光を通すシート。透明と半透明のタイプがあります。 ・ファスカル4500（P.10参照）
反射タイプ	ガラスビーズによって、光に対して鮮やかに反射するシート。用途によって様々なグレードがあります。 ・モウカル反射シート（P.2～3参照） ・反射シート（P.13参照）
蛍光タイプ	明るく目立つサインなどが作りたい場合に使用します。 ・モウカル蛍光シート（P.2～3参照） ・蛍光シート（P.12参照）
蓄光タイプ	太陽や蛍光灯の明かりで蓄えた光を放出します。 ・蓄光シート（P.12参照）
メタルタイプ	シルバー、ゴールドの鏡面又はマット仕上げのシートです。ステンレス板のようなラインが入ったヘアラインタイプもあります。 ・モウカル金銀シート（P.2～3参照）
スリガラスタイプ	スリガラスのような半透明の模様で、目隠しやデザインに使用できます。 ・ミストカラー（P.16参照） ・フォグラス（P.17参照）
ソーラープロテクトタイプ	UV（紫外線）カットや飛散防止用のシートです。 ・ルミクール（P.16～17参照） ・グラステクト（P.18参照）
光触媒タイプ	光触媒の親水化技術を応用し、汚れの付着を防止してきれいな状態を保つことができるシートです。 ・ラクリン（P.18参照） ・ハイドラップ（P.19参照）
熱転写タイプ	Tシャツなどに貼り付けられる転写シートです。主にアイロンを使って転写します。 ・ラバーシート（P.14～15参照）
プリズムタイプ	幾何学模様にはくシートです。インパクトをつけたい場合に使用できます。
テント用タイプ	布素材や表面の粗いテント地素材専用のシートです。
アプリケーション	マーキングフィルムの転写シートです。ポリプロピレンの透明タイプや和紙を使用したタイプ、離型紙付きや離型紙無しなど、施工条件に合わせて数タイプが存在します。 ・モウカルアプリケーション（P.6参照） ・フォグラス用リタックシート（P.17参照）

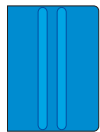
マーキングフィルムの貼り方

◇用意するもの

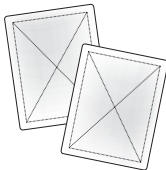
・カッティング、カストリを
済ませてアプリケーションを
貼った状態のシート



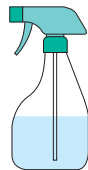
・スキージ
(ヘラ)



・雑巾



・洗剤液 (中性洗剤1 : 水50)



マーキングフィルムはP.2~P.11、
アプリケーションはP.6、
スキージはP.405~P.406をご参照下さい。

ドライ貼り 施工例：パネル

1



雑巾を使い、水と洗剤で被着面の
汚れ・ほこりを取り除きます。

2



シートを施工面にのせて位置
合わせをし、マスキングテープ
で仮止めをします。

3



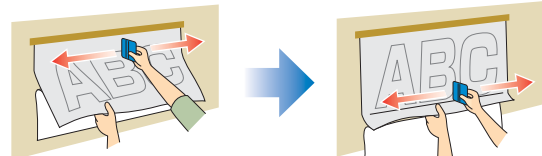
マスキングテープでしっかりと
固定します。

4



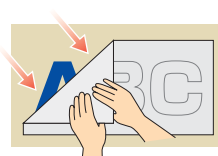
シートを施工面からはがしつつ、
片手で押さええます。

5



シートをはがしながら、スキージでゆっくりと大きくこすって
いきます。

6



マスキングテープをはがし、端から
アプリケーションテープを被着面に対し
180度の角度でゆっくりとはがしていきます。

完成



完成!

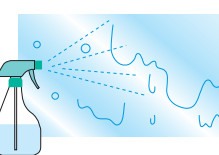
水貼り 施工例：ガラス面

1



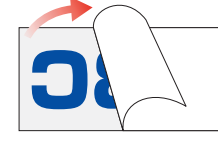
雑巾を使い、水と洗剤で被着面の
汚れ・ほこりを取り除きます。

2



施工面に洗剤液を吹きます。

3



シートの台紙をはがします。

4



シートの糊面に洗剤液を吹きます。

5



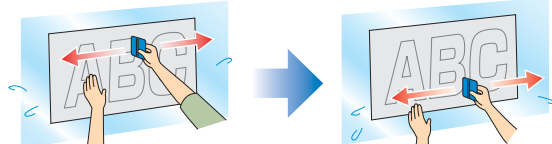
シートの位置を決めて軽く
貼ります。

6



シートの表面にも洗剤液を
吹きます。

7



表面をスキージで内側から外側の方向へゆっくりと強くこすって
いきます。

8



端からアプリケーションテープを
被着面に対し180°の角度で
ゆっくりとはがしていきます。

完成



水が乾いたら完成!

マーキングフィルムの貼り方には、主に2種類の
方法があります。水を使用しない「ドライ貼り」は
パネルなどへ貼る場合に、水を使用する「水貼り」
はガラス面などに貼る場合に有効です。

※施工で困った場合は、お気軽にお問い合わせ下さい。